

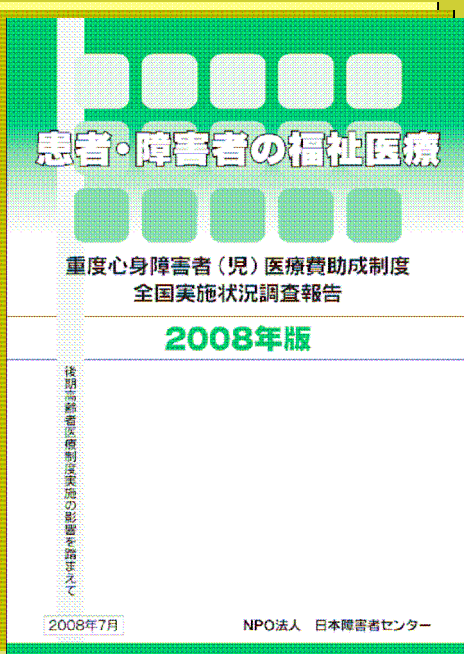
2008年版

患者・障害者の福祉医療

重度心身障害者（児）医療費助成制度

全国実施状況調査報告

後期高齢者医療制度実施の影響を踏まえて



■ 応益（受益者）負担の強化や市場・競争原理が社会保障分野にも持ち込まれ、障害者自立支援法、医療制度「改革」など福祉・医療制度が断続的に「後退」しています。

■ NPO法人日本障害者センターは、制度を利用する患者・障害者の視点で、全国47都道府県17政令35中核市の障害者福祉医療について2003年、05年に続く3度目の調査を実施。

■ 財政難と国制度との均衡を理由に自治体制度の後退が続出。所得制限、年齢制限、自己負担等相次いで見直しが進められている実態が明らかになりました。

■ また、障害者自立支援医療をはじめ、各種医療制度もわかりやすく解説。

■ 患者・障害者の福祉医療制度が今後どのように変わろうとし、国制度の影響が自治体制度にどのように影響するのか。患者・障害者の医療に携わる方々にも必携の書です。

日本障害者センター発行 1,260円（税・送料込み） A4判/頁127

■ 編集スタッフ 水谷幸司（全国心臓病の子どもを守る会）
宮永恵美（全国腎臓病協議会）
白沢仁（障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会）

Contents

- 患者・障害者と医療制度 -後期高齢者医療制度と障害者への影響にもふれて-
- 1 医療制度のしくみと障害者の医療
- 2 障害者自立支援法で大きく変わった障害者の医療制度
- 3 2006年医療制度「改革」と障害者
- 4 後期高齢者医療制度、障害者への影響は
- 5 障害者への医療保障制度の現状と課題
- 重度心身障害者（児）医療費助成制度全国実施状況調査報告
調査の概要、調査結果の特徴（所得制限、自己負担等項目別分析含む）
- 重度心身障害者（児）医療費助成制度全国実施状況調査結果一覧表
- 関連資料

■ お問合せ・申込先

(社)全国腎臓病協議会 TEL 03(5395)2631

書籍の代金は、書籍送付時に同封する郵便振替用紙でお支払い下さい。